

事業所名

児童発達支援 マイステージひまわり梅香

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

1月

20日

法人（事業所）理念		誰もが自分らしく生きれる社会をつくる～どんな障がいを持っていても一人ひとりの自己実現（夢・自分らしさ・可能性）と地域生活のサポートをし続ける～						
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・児童に「できる」喜びを覚えてもらう。→成功体験から自分自身への自信と物事に積極的に取り組む姿勢を養う。 ・一つの物事に集中して取り組める落ち着きを養う。→まずは基礎感覚を強化し、発達の基礎を高めていくアプローチを行う。 ・集団行動を通じてルール、決まり事を守れるようにする。→小学校生活に向けての他者とのコミュニケーションを深める。 						
営業時間		9時	30分	17時	30分	送迎実施の有無	あり	
支援内容								
本人支援	健康・生活	<p>未就学児が日常生活を送る上で必要な基礎的な生活習慣や健康管理のスキルを育てます。</p> <p>生活リズムの確立:起床・食事・睡眠といった基本的な生活リズムを整えるための支援を行います。日常のルーティンを視覚的に示すカードなどを活用します。</p> <p>身の回りのことの練習:手洗い、トイレトレーニング、衣服の着脱などを個々の発達段階に合わせて練習。成功体験を重ねることで自信を育てます。</p> <p>食事の支援:偏食や食べこぼしがある場合、少しずつ改善できるようサポート。例えば、スプーンやフォークの使い方や新しい食材へのチャレンジを支援します。</p> <p>安全意識の育成:道路の歩き方や危険物への対処方法を遊びの中で学び、安全に過ごす力を育てます。</p>						
	運動・感覚	<p>体を動かす楽しさを体験させることで、運動能力や感覚処理のスキルを高めます。</p> <p>粗大運動:トランポリンや平均台、滑り台などを使い、バランス感覚や筋力を発達させます。</p> <p>微細運動:積み木や紐通し、粘土遊びなどを通じて、手先の器用さを育てます。</p> <p>感覚統合支援:触覚、聴覚、前庭感覚などの刺激に対して過敏または鈍感な場合、それに合わせた遊び（砂場遊び、ふわふわボールでのマッサージなど）で感覚の調整を行います。</p> <p>リズム活動:音楽に合わせて動いたり、手拍子をしたりすることで、体と感覚の統合を図ります。</p>						
	認知・行動	<p>集中力や問題解決能力を伸ばし、自己コントロールを学ぶ支援を行います。</p> <p>認知スキルの育成:簡単なパズルや色分けゲームを通じて、考える力や記憶力を高めます。</p> <p>行動の見通しを持つ練習:活動の順番やルールを視覚的に伝えることで、行動への見通しを持たせ、安心感を与えます。</p> <p>ルール理解の支援:「順番を守る」「待つ」といった集団でのルールを遊びを通じて学びます。</p> <p>自己調整の練習:感情が高ぶったときの対処方法（深呼吸、静かな場所に行く）を教え、自己コントロール力を養います。</p>						
	言語コミュニケーション	<p>言葉や非言語的な方法で自分の意思や感情を伝える力を育みます。</p> <p>言葉の発達支援:絵本の読み聞かせや、カードを使った単語学習で、語彙力や発音を促します。</p> <p>非言語コミュニケーション:ジェスチャーやピクチャーカードを用い、言葉以外の方法で意思を伝える練習を行います。</p> <p>簡単な会話の練習:質問に答える、簡単なあいさつをするなど、日常生活で使える会話を遊びながら学びます。</p> <p>表現力を高める遊び:おもちゃごとやごっこ遊びを通じて、自分の感情や考えを自然に表現する力を育てます。</p>						
	人間関係社会性	<p>他者との関係性を学び、集団生活での社会性を身につけます。</p> <p>集団での活動:歌や体操、ゲームをみんなで行うことで、協調性やルールを守る力を育てます。</p> <p>他者への配慮:「ありがとう」や「ごめんなさい」などの基本的なやりとりを練習します。</p> <p>ロールプレイ:スーパーでの買い物やバスに乗るなどの場面設定を通じて、実社会での行動を学びます。</p> <p>他の子どもとの交流:一緒に遊ぶ体験を通じて、友だちづくりやコミュニケーションスキルを伸ばします。</p>						
家族支援		<p>保護者や家族が子どもの成長を支える力を引き出し、家庭での療育や日常生活の支援がスムーズに行えるようサポートします。</p> <p>相談支援:子どもの発達や行動に関する悩みや不安について専門的なアドバイスを提供します。定期的な個別面談や保護者会を開催</p> <p>家庭での療育方法の指導:家庭でも取り組める療育方法を提案し、親子と一緒にできる簡単な遊びや活動を紹介。たとえば、「感覚刺激遊び」や「言語発達を促す会話のヒント」など。</p>			移行支援		<p>未就学児がスムーズに次のステップ（幼稚園、保育園、小学校）へ進めるように支援を行います。</p> <p>進学準備:子どもの特性やニーズに合った教育機関を選ぶサポートを行います。</p> <p>集団行動の練習:座る、待つ、順番を守るなど、幼稚園や学校生活に必要なスキルを遊びや活動を通じて学びます。</p> <p>新しい環境への慣らし支援:入園や入学前に模擬的な活動を行い、新しい環境への不安を減らします。例:グループ活動や読み聞かせなどの実施。</p>	
地域支援・地域連携		<p>地域資源の活用:図書館、公園、スポーツクラブなど、地域の施設やサービスを利用できるよう支援します。</p> <p>他機関との連携:医療機関、保健センター、特別支援学校などと情報を共有し、子どもが必要な支援を一貫して受けられる体制を整えます。</p> <p>福祉サービスの橋渡し:障害福祉サービスや地域のサポートグループへの紹介を行い、家庭が地域の支援ネットワークを活用できるよう支援します。</p>			職員の質の向上		<p>専門職の意見を取り入れながら、日々療育についての会議を行い、技術や知識だけでなく療育に対する姿勢やかかわり方等の研修を行っています。</p>	
主な行事等		年間を通しての祝日プログラムの実施。保護者参加のイベント等。						